

訓練の実施について

○ 目的

以下を目的として、「外国人来訪者や障がい者等に配慮した情報伝達・避難誘導に関する教育・訓練プログラム(案)」に従い、訓練を立案・実施。

- ①外国人来訪者や障がい者等に配慮した情報伝達・避難誘導訓練を実施する際の留意事項などの確認
- ②教育・訓練プログラム(案)において、追記、修正等する事項はないか。
- ③情報コンテンツ集(例)(案)において、追記、修正等する事項はないか。



ガイドライン(情報コンテンツ集(例)や教育訓練プログラムなどを含む。)の内容に反映。

※ 災害対応そのものの訓練よりも、ここでは「様々な方々への配慮を主眼とした訓練」を実施し、その結果をガイドラインに反映。

○ 時期

10月～12月(予定)

○ 場所(施設)

ガイドラインの対象施設(複数箇所)で実施。

ガイドラインの対象施設

① 駅・空港 < 駅1箇所(11月中旬)、空港1箇所(11月下旬)で実施を調整中 >

② 競技場 < 2箇所(10月下旬・11月中旬)で実施を調整中 >

③ 旅館・ホテル等 < 2箇所(11月上旬・12月中旬)で実施を調整中 >

○ 参加者(訓練協力者)

施設の従業員等(プレイヤー: 自衛消防隊員役)

外国人や障がい者等(コントローラー: 施設利用者役)

施設関係者・WG委員等(評価者)

プレイヤーとコントローラー、評価者に分かれ、火災や地震の発生を想定した
実動訓練を行う。

○ 訓練内容

- ① 訓練を実施する施設における既存の訓練シナリオに、外国人来訪者や障がい者等への個別対応に係る想定※¹を追加し、火災や地震発生時の時系列に沿った一連の訓練※²を実施。

※¹ 個別対応に係る想定は本資料6ページ参照。

※² 施設の実情に応じ、部分的な訓練とすることも想定。

- ② 従業員等はプレイヤーとして、外国人来訪者や障がい者等に配慮した火災や地震発生時の初動対応や個別事案への対応を行う※。

※ 施設ごとの訓練計画の作成(調整)の際に、

- ・「(母語で情報伝達ができない場合における)外国人来訪者への情報伝達の方法(案)」や「障がいなど様々な特性がある方への情報伝達・避難誘導の際の留意事項(案)」(参考資料5-9)
- ・ガイドライン骨子の「外国人来訪者等に配慮した情報伝達・避難誘導の方策の例」(参考資料5-4)

などを踏まえた対応を盛り込み、外国人来訪者や障がい者等に配慮した対応を実験的に行うことを想定(様々なツール・アプリ等を開発している企業へ協力を呼びかけ)。

○ 訓練内容(つづき)

- ③ 外国人や障がい者等にコントローラーとして参加を依頼し、プレイヤーに必要な対応を求める。
- ④ 訓練実施後、プレイヤーとコントローラー、評価者から、訓練を実施する際の留意事項などに関する意見を収集する。

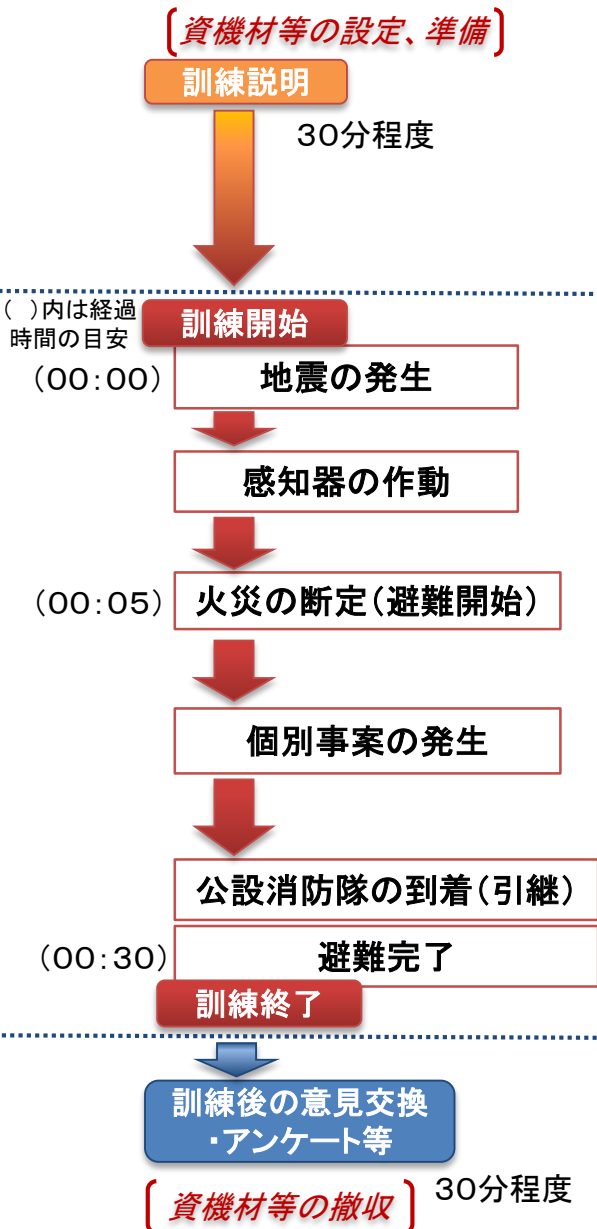
○ 外国人来訪者や障がい者等への個別対応に係る想定(参考資料5-10 P24より引用)

- ①放送内容を理解できなかった外国人来訪者や聴覚障がいなどの特性がある方に個別の説明が必要な場合や、これらの方から個別の説明を求められた場合
- ②火や煙、地震の揺れの恐怖等による錯乱状態の外国人来訪者や障がい者等が危険な状況にある場合(慌てて施設から出ようとする、指示しても避難できない等)
- ③外国人来訪者や視覚障がい、車いす使用などの特性がある方を個別に避難場所まで誘導する必要がある場合や、これらの方から個別に避難場所まで誘導してほしい旨の申出があった場合
- ④エレベーターを使用して避難しようとする外国人来訪者や障がい者等がいる場合
- ⑤エレベーターに外国人来訪者や障がい者等が閉じ込められている場合
- ⑥一旦避難した後に、客室や建物内に戻ろうとする外国人来訪者や障がい者等がいる場合
- ⑦けがや体調不良の外国人来訪者や障がい者等が発生した場合

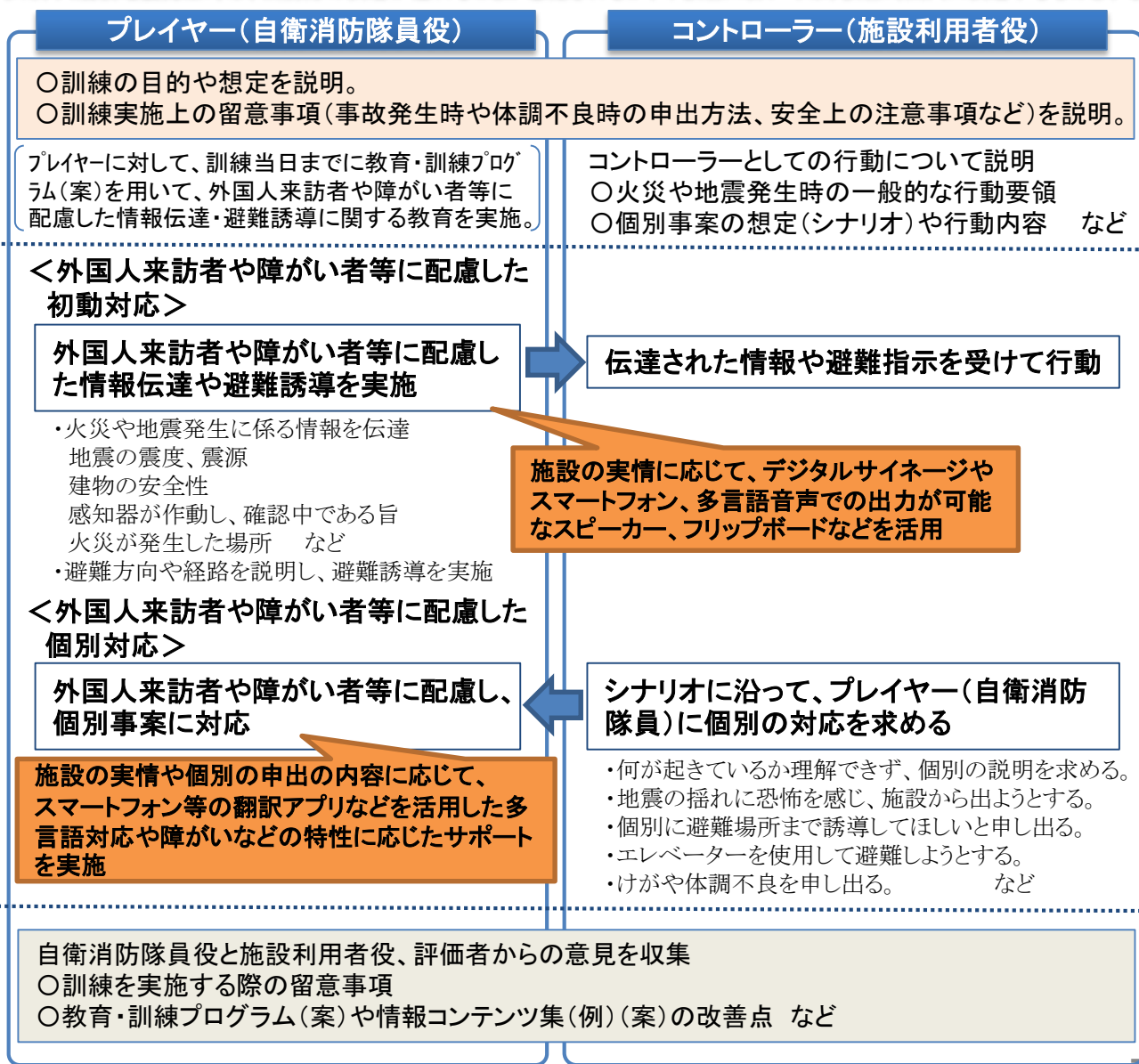
※ 障がい者等の関係団体ヒアリング(参考資料5-11)の結果を踏まえ、訓練を実施。
また、訓練を実施する施設の実情に応じ、当該訓練を実施する想定を選択。

訓練計画(案)(6/6)

○ タイムテーブル (総合訓練の場合のイメージ)



※ 訓練実施施設の既存の訓練シナリオを活用し、情報伝達・避難誘導に関する行動を中心に実施。
通常、火災の発生から、公設消防隊の到着や避難完了までに30分を要するケースは少ないと考えられるが、本訓練においては、個別事案への対応完了まで訓練を継続するものとする。
また、大規模地震発生時は、消防隊の到着が遅れることが想定されるが、本訓練においては、訓練時間内に到着するものとする。



○ 主な論点(意見交換のポイント)

① 訓練の目的について

- ※ 「様々な方々への配慮を主眼とした訓練」を実施し、その結果をガイドラインに反映。
(P2再掲)

② 訓練の内容について

- ※ プレイヤーとコントローラー、評価者に分かれ、火災や地震の発生を想定した実動訓練を行う。(P3再掲)
- ※ 従業員等はプレイヤーとして、外国人来訪者や障がい者等に配慮した火災や地震発生時の初動対応や個別事案への対応を行う。(P4再掲)

③ その他